

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成25年3月28日(2013.3.28)

【公開番号】特開2009-2946(P2009-2946A)

【公開日】平成21年1月8日(2009.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2009-001

【出願番号】特願2008-153672(P2008-153672)

【国際特許分類】

G 2 1 C 17/003 (2006.01)

【F I】

G 2 1 C 17/00 G D B E

【手続補正書】

【提出日】平成25年2月7日(2013.2.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

原子炉を検査する検査装置(200)において、

第1の軌道(204)と、

1つ以上の第2の軌道を含むアーム(202)と、

固定装置(206)と、

エフェクタ(208)と、

を具備し、

前記アーム(202)は前記第1の軌道(204)に動作自在に結合され、

前記1つ以上の第2の軌道のうちの少なくとも1つは少なくとも3つの軌道部分を含み

、

前記固定装置(206)は前記第1の軌道(204)に動作自在に結合され、

前記エフェクタ(208)は前記アーム(202)に動作自在に結合され、

前記アーム(202)は収縮長さを有し、

前記アーム(202)は伸長長さを有し、

前記伸長長さは前記収縮長さの2倍を超えること、

を特徴とする検査装置(200)。

【請求項2】

前記第1の軌道(204)は、前記第1の軌道(204)に対して前記アーム(202)を移動するように構成される1つ以上のモータ(1200、1202、1204)を具備することを特徴とする請求項1に記載の装置(200)。

【請求項3】

前記第1の軌道(204)は、前記第1の軌道(204)に沿って前記アーム(200)を移動するように構成される1つ以上のモータ(1200、1202、1204)を具備することを特徴とする請求項1に記載の装置(200)。

【請求項4】

前記第1の軌道(204)は、前記アーム(202)と前記第1の軌道(204)との動作自在の結合部に対して前記アーム(202)を移動するように構成される1つ以上のモータ(1200、1202、1204)を具備することを特徴とする請求項1に記載の装置(200)。

**【請求項 5】**

前記第1の軌道（204）は、前記第1の軌道（204）に対して前記アーム（202）を回転するように構成される1つ以上のモータ（1200、1202、1204）を具備することを特徴とする請求項1に記載の装置（200）。

**【請求項 6】**

ケーブル管理システムを更に具備することを特徴とする請求項1に記載の装置（200）。

**【請求項 7】**

前記エフェクタ（208）は1つ以上のセンサを具備することを特徴とする請求項1に記載の装置（200）。